

Pseudomonas fluorescens由来のマニトール脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1114

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、マニトール2-脱水素酵素（EC 1.1.1.67）は、次の化学反応を触媒する酵素です： $\text{D-マニトール} + \text{NAD}^+ \leftrightarrow \text{D-フルクトース} + \text{NADH} + \text{H}^+$ 。したがって、この酵素の2つの基質はD-マニトールとNAD⁺であり、3つの生成物はD-フルクトース、NADH、およびH⁺です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD⁺またはNADP⁺を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。この酵素はフルクトースとマンノースの代謝に関与しています。

別名 マニトール脱水素酵素; D-マニトール脱水素酵素; マニトール脱水素酵素; マニトール2-脱水素酵素; EC 1.1.1.67; 9001-65-4

製品情報

由来 フルオレッセンス pseudomonas

形態 液体

EC番号 EC 1.1.1.67

CAS登録番号 9001-65-4

分子量 ~ 56.7kD

活性 ~ 40 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 8.6および25°CのTris-HClバッファー中でD-マニトールの存在下において、NAD⁺から1μmoleのNADHを生成するために必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C